

香南市産業振興計画  
推進分野別部会からの報告書

● 農業部会 .....	1 ページ
● 林業部会 .....	5 ページ
● 水産業部会 .....	10 ページ
● 商業部会 .....	14 ページ
● 工業部会 .....	19 ページ
● 観光部会 .....	24 ページ

## 令和5年度 第2回 香南市産業振興計画 農業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎石丸 典男	JA 高知県香美地区果樹部	出
2	○小松 哲	JA 高知県香美地区ニラ部会	出
3	◇橋本 治夫	香南市認定農業者連絡協議会	欠
4	◇百田 彰和	香南市有害鳥獣被害対策協議会	出
5	◇白石 浩一	JA 高知県香美地区香美営農 経済センター(営農指導課)	出
6	◇楮佐古 正志	高知県農業共済組合東部支所	欠
7	◇矢野 広章	高知県中央東農業振興センター 農業改良普及課	出
8	◇山本 茂夫	香南市農業公社	欠

	氏名	所属	出欠
1	小松 大洋	農林水産課	出
2	川崎 大也	農林水産課	出
3	久武 正和	農林水産課	出
4	刈谷 弘法	企画財政課	出
5	府川 早苗	商工観光課	出

### ☆ 当日の流れ

#### 1. 開 会 (挨拶)

#### 2. 議 事

- ・令和5年度の取り組み状況について(10月末時点)
- ・香南市産業振興計画(令和6年度版)の改訂について
- ・その他

#### 3. 今後のスケジュールについて

#### 4. 閉 会

## ○『令和5年度の取り組み』について【PDCA】

### 【P】（目標値）

- 令和5年度数値目標 : 『新規就農者数 10人 /年』
- 実績値（R5年10月末） : 『新規就農者数 一人 /年』

### 【D】（取り組み内容）

- 関係機関が連携し、新規就農相談に対応。また、研修生及び研修受入農家へのサポートを体制の強化により研修中から就農までの計画等における支援を図ってきた。
- JA及び高知県中央東農業振興センターとの情報共有及び就農相談を行った。
- JA及び高知県中央東農業振興センターと連携し各種補助事業の周知を図り、活用につなげた。

#### <具体的な取り組み(資料1より抜粋)>

##### ◆担い手確保に向けた取り組み

- ・新規就農者総合対策事業や担い手支援事業などの国・県事業から活用を検討し、補助要件に満たない就農希望者も含め市単独事業でもサポート。幅広い事業の活用で担い手の支援を行ってきた。
- ・上記の事業実施により、ニラを中心にフルーツトマト、果樹等の品目で担い手を確保。
- ・6月の市広報や、9月のオーテピア西敷地での就農相談会(れんけいこうち事業)にて事業の周知活動を実施。

##### ◆経営改善・農地維持に向けた取り組み／◆農業生産基盤の充実に向けた取り組み

- ・園芸用ハウス整備事業では流動化区分を中心に事業要望に対応している。また、被災したハウスについて災害復旧区分の活用もあった。今後は高度化区分1件の予定もあるが、ハウス資材の高騰が続いていることで新規での建設希望者は依然として減少傾向。引き続き中古ハウスの改修・移設(流動化区分)を中心に事業活用を促していく方針。
- ・人・農地プランの法定化による地域計画策定に向け、市内18地区で順次協議の場を開催し始めている。R5年度内に全地区で協議の場を開催する予定であり、今後の計画策定に向け引き続き関係機関との連携を深めている。

### 【C】（チェック/確認）

- 新規就農相談は昨年度を少し上回る件数で推移しているが、家庭の都合や研修受入農家とのマッチングが進まないなどで補助事業の要件と合致しないケースも多い。親元就農の相談などであれば、市単補助金の活用につなげ、就農支援を行っていく。
- 重油流出防止付燃料タンク整備事業は、災害リスクへの対応策として普及啓発を行っているところではあるが、採算性が低いことを理由に民間事業者が実施に踏み切らない実情もあり、目標値と実績値で乖離が大きくなっている。

- 豚熱の影響などもあり、イノシシによる農業被害の報告や駆除依頼が大幅に減っていたが、最近になって、目撃等も再び増えてきている。また、報告は少ないが山間部でサルを目撃情報もあるため、出没箇所や被害状況には注意が必要。

## 【A】（アクション /改善）

- 11月以降、東京・大阪で行われる新・農業人フェアへの出展が決まっており、これら就農相談会等での積極的なPRで、意欲ある就農希望者の誘致を促していく。
- JA・高知県中央東農業振興センターと情報共有・連携し各種事業の周知を図るとともに、相談者それぞれのビジョンにあった支援を検討。研修段階からサポートしていく。
- 資材や燃料、肥料の価格高騰で依然として厳しい状況が続くが、国・県事業を含め複合的な事業活用の提案を行うことで、ハウス・各種装置・設備の導入や更新に向けてのニーズの掘り起こしを行う。
- 各地区で協議の場を設け、地域計画の策定に向け取り組みを進めていく。その中で、中心経営体への農地の集積・集約を行い、また、基盤整備事業については実施可否も含め地域との協議を行っていく。

## ○ 10月までの取り組みについてのご意見やご提案

### ◇ 実践型研修ハウスについて

- 現在の活用状況は。良い設備でスタートすると、そこからのグレードダウンは考えにくく、ハウス資材等が高騰している中では研修ハウスを出た後が困ることもあるのではないかと。また、香美市でも研修ハウス建設の話聞いた。JA生産者部会は香美地区としてのまとまりがある。香美市と足並みを揃えた施策をお願いしたい。（小松委員）
  - 香美市はレンタルハウスののれん分け制度を活用する方向で話が進んでいる。（白石委員）
  - 現在は6棟全てが埋まっている。1名離農者も出たが、それ以外は独立自営に繋がっている。本市の実践型研修ハウスは、新規就農者の早い段階での所得向上に繋げるための設備を導入している経緯がある。香美市とは制度が違うので、そこで足並みを揃えることはできない。（事務局）

### ◇ 新規就農者について

- 若い新たな担い手確保に向けて、農業高校や農業大学校を卒業した方が新規就農するケースはどれくらいあるか。（小松委員）
  - 現状の就農相談では、そういったケースはない。農業分野とは関係のない高校や大学を卒業したばかりの方が家庭の事情もあり親元就農するといったケースは本年度も数件あり、市単事業の活用で支援もしているところ。（事務局）

## ○ その他の取組について

### ◇ 有機・減農薬等での栽培（水稻の生産支援）について

- 減農薬栽培などの市の新たな取り組みの話聞いた。具体的にはどのようなものか。（小松委員）

- R6 年から市農業公社にて特別栽培米に取り組んでいく。これは、農地を持たない大阪府泉大津市が、学校給食用や妊産婦支援の取り組みとして他県より特別栽培米を購入している事業に着目し、慣行栽培よりも高値で取引される特別栽培米にチャレンジしていく取り組みとなる。軌道に乗れば、学校給食のお米もそれに切り替えていくことも視野に入れている。(事務局)
- 本市の農地の中でも一番多い面積であるのが水田。米価の低迷により採算が合わなくなり離農、耕作放棄されるケースも出ている中で、第3期の産業振興計画策定に向けて、何らかの取り組みができないものか。(白石委員)
  - 前述の特別栽培米(その先には有機栽培等も)の取り組みの中で安定供給ができれば栽培方法を広め、香南市産の米のブランド化、米農家の所得向上にも繋げていきたいと考えている。しかし、専用の農業機械の導入など一定の設備投資も必要であることや、近隣の慣行栽培農家との調整などクリアしなければいけない課題も多い。(事務局)
  - JAとしても各品目に対しバランス良く支援していかなければならないため米に特化することも難しい。(白石委員)

#### ◇ 香南市資材高騰緊急対策給付金について

- 10月から受付開始した給付金であるが、現時点で300件弱の申請数となっている。R6年1月末までの申請期間なので、関係機関と協力し一層の周知に努めていく。(事務局)

## 令和5年度 第2回 香南市産業振興計画 林業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎三谷 幸寛	香美森林組合	欠
2	○公文 敬介	高知県中央東林業事務所 振興課	出
3	井上 美穂	公益社団法人 高知県森と緑の会	出
4	堀田 幸生	雑木バードカービング作家 森林環境学習講師	出
5	小原 忠	一般社団法人 高知県木材協会	出
6			
7			

	氏名	所属	出欠
1	小松 大洋	農林水産課	出
2	川崎 大也	農林水産課	出
3	久武 正和	農林水産課	出
4	児玉 亮太	農林水産課	出
5	藤岡 咲果	農林水産課	出
6	府川 早苗	商工観光課	出
7	刈谷 弘法	企画財政課	出

### ☆ 当日の流れ

#### 1. 開 会

#### 2. 議 事

- ・令和5年度の取り組み状況について(10月末時点)
- ・香南市産業振興計画(令和6年度版)の改訂について
- ・その他

#### 3. その他

#### 4. 閉 会

## ○『令和5年度の取り組み状況』について【PDCA】

### 【P】（目標値）

- 令和5年度数値目標 : 『間伐面積 65 ha /年』
- 速報値（R5.10月末） : 『間伐面積 0 ha /年』

### 【D】（取り組み内容）

#### ○ 間伐事業(保育・搬出間伐)

保育間伐(施業地調整中)及び搬出間伐(香我美町撫川)を実施中。

#### <具体的な取り組み(資料1より抜粋)>

- ・ 意向調査の実施:夜須町沢谷地区・細川地区の森林所有者の情報を整理中。
- ・ 森林管理制度森林境界明確化委託事業:事業実施に向けての準備。
- ・ 木育事業(5回)
  - ①木育イベントの開催(0回)  
11・12月の実施に向けての準備。
  - ②保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施(3回)  
6/7 赤岡保育所(万華鏡づくり)、9/4 吉川保育所(竹コマ・ラワンの種飛ばし)、  
10/19 香我美おれんじ保育所(万華鏡づくり)
  - ③木育事業全般に係る周知活動(1回)  
香南ケーブルTVと連携して放送中の番組「木育 Baby」により、「香南市の森からの贈り物事業」を周知した。(R5年度出演者4名)  
農林水産課窓口の木育関係のイベントのチラシを随時設置。
  - ④香南市の森からの贈り物事業(1回)  
市内の乳児110名に木製玩具を贈呈済。  
【案内文書送付数】  
R4年度(R4.3～R5.2月出生)…240名(うち贈呈済206名)  
R5年度(R5.3～R5.9月出生)…122名(うち贈呈済106名)
  - ⑤市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈(0回)  
各小学校からの要望を取りまとめ、1月中の贈呈に向けて準備中。(3校)

### 【C】（チェック/確認）

#### ○ 間伐事業(保育・搬出間伐)

保育・搬出間伐を実施中。

※実績値を市補助金(県造林補助金の上乗せ補助であり、事後申請になる。)の申請面積で集計しており、県補助申請が12月末時点の実績で取りまとめるため、令和5年度の実績としては、R5年1月～12月の間

伐実施面積となる。

事後申請であることから、12 月末時点で間伐途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずにその森林所有者の森林の間伐が全て完了してから、次年度に申請するため、実績が当初の目標値を満たせない場合がある。

※R4 年度までは香南市における香美森林組合の施業班は 1 班体制で実施していたが、R5～R6 年度については 3 班体制で実施中であり、補助金申請の時期の関係で、R5 年度実績に計上できないものの、R6 年度に計上できる見込みである。

## 【A】（アクション /改善）

### ○ 間伐事業(保育搬出間伐)

【R5 年度 11 月以降】

引き続き事業を実施していく。

☆R5 年度実績見込み

- ・保育間伐(森林所有者実施分) 3.62ha(香我美町上分・別役)見込み
- ・保育間伐(香美森林組合実施分) 実施予定(夜須町沢谷)
- ・搬出間伐 25.51ha (香我美町撫川) 見込み。

【R6年度】

保育間伐（施業地調整中）、搬出間伐(香我美町撫川・舞川、夜須町仲木屋)を実施し、森林の持つ公益的機能(水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等)の維持・増進に繋げる。

R4 年度から意向調査を実施し、森林所有者情報や意向を集積している夜須町細川での森林整備について、林業事業体と意見交換をした上で計画を立てる。

### <11 月以降の主な取り組み(資料1より抜粋)>

- ・ 意向調査の実施：  
森林所有者への意向調査を発送する。(夜須町細川・沢谷地区を対象に 1 月発送予定)  
野市町内での地下水量の維持・増進のため、将来的な間伐実施に向けて林業事業体と意見交換をした上で、今後の意向調査実施地区の調整を図る。
- ・ 森林管理制度森林境界明確化委託事業：  
11/10 に香美森林組合と契約し、夜須町沢谷で事業を実施中(R5 年度実績見込み 42ha)  
所有者不明の森林があるため、意向調査を再送付し、所有者を特定し、事業に同意をいただく。
- ・ 木育事業：
  - ① 木育イベントの開催  
11/25、12/9 ファーストスプーン 実施済み。
  - ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施  
保育所・幼稚園・小学校で6回実施予定。
  - ③ 木育事業全般に係る周知活動  
12/9 冒険の森(野市町大谷)に木製遊具を設置。(地域支援課)
  - ④ 香南市の森からの贈り物事業



子育て支援センター及び各支所に事業のポスターを設置及び市 HP や SNS を活用し、未申請に対して周知する。

R6 年度以降の申請方法の見直し(電子申請 等)

- ⑤ 市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈  
各施設に木製玩具を贈呈する。(1 月中)

## ○ 10 月までの取り組みについての意見や提案

### ◇ 意向調査について

- ・ 意向調査の昨年度実績は、120ha の目標数値に対し、82.3ha と目標数値を下回っていたが、今後達成できる見込みはあるのか？
  - 現状、前年度未回答分＋新たな林班を対象として、毎年度、意向調査を実施しており、所有者を課税台帳や戸籍の情報をもとに探索することで、達成可能と考えている。
- ・ 今後の取り組みで「野市町内での地下水量の維持・増進のため、将来的な間伐実施に向けて林業事業体と意見交換をした上で、今後の意向調査実施地区の調整を図る。」とあるが、具体的にはどのような点を調整するのか？
  - 野市町で実施する地区は東佐古を想定しており、その中で、今後、森林整備を実施できそうな林班や整備に向けたスケジュール等を調整する予定である。
  - 地下水量の推移について、森林整備後にすぐに数値として、出るものでもないかもしれないが、整備前と整備後で比較できるようにデータを収集してはどうか？

### ◇ 香南市の森からの贈り物事業について

- ・ 申請率はどれくらいか？他の自治体では同様の事業で検診の際に案内文書を配る等もしているが周知方法は今後、どのようにしていくか？
  - R4 年度の実績で見ると約 86% である。現状、対象者に直接郵送しているが、今後、周知方法も検討していく。

### ◇ 市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈について

- ・ 来年度も小・中学校を対象にしている理由は？
  - 令和3年度に保育所・幼稚園、令和4年度に子育て支援センターと認定保育園に木製玩具を贈呈しており、令和5年度から、小・中学校に木製備品を贈呈している。木製玩具と比べ、木製備品は価格が高く、全ての要望に応えられていないため、来年度も継続する。

## ○ 進捗に対する課題の洗い出しと今後について

### ◇ 木育イベントの開催について 課題『周知方法』

- ファーストスプーンのイベントについて、どこで情報を知ったのか参加者に個別に聞いたところ、ほとんどの方が広報を見ていないことがわかった。(個別に送った案内ハガキで知った。)

若い方の中には広報よりも、SNS の方が身近で、手軽に感じる人もいると思う。今後、SNS を活用して周知することが必要であると思うが、市にはどのような SNS があるか？

- 市には LINE やInstagram、YouTube 等のアカウントがあり、発信することができる。
- 森からの贈り物事業の案内文の中に市 SNS の案内文を同封して、若い世代の方に周知していくのはどうか？
- 今後、案内文に同封して周知していきたい。
- 子どもたちへの木育は定着してきたが、今後、大人の方を対象とした木育にも力を入れてはどうか？
  - 市の森林整備の取り組みから、多くの方々に知っていただき、意向調査や森林境界明確化を実施する際に理解を得られるような周知活動をしていきたい。

#### ◇ 森林環境譲与税の活用について 課題『木質化や啓発普及の取り組みへの活用』

- 森林環境譲与税を野市町大谷の「冒険の森」の遊具設置に活用していたが、毎年度、同様に市の施設の木質化に活用していく予定であるか？
  - 当初予算を決める段階で、各課と連携し、施設の木質化や保・幼・小・中学校等における木製備品の導入等、森林環境譲与税が活用できそうな事業を取りまとめている。

### ○ 前回の部会や策定委員会でいただいたご意見やご提案について

#### ◇ 【林業部会に対する提案について】（R5 年度 第 1 回 策定委員会より）

- 一般の方に森林整備の大切さを身近に感じてもらうために今年度はシンポジウムをしたいという計画がある。ぜひ市役所の部会でも協力してやってもらいたい。
  - 「アクア・リプル・ネットワーク」が共催している「第2回物部川フォーラム」について、委員にお知らせした。市としても、講演会やイベントへの周知や参加等を通して、協力していく。

## 令和5年度 第2回 香南市産業振興計画 水産業部会 報告書

◇ 部会委員    ◎ 部会長    ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎中田 和伸	高知県漁業協同組合 手結支所長	出
2	○山下 太造	高知県漁業協同組合 赤岡統括支所長	出
3	本田 和仁	赤岡パッチ組合船主会 会長	出
4	野村 操	吉川町パッチ網船主会 会長	出
5	岡西 美延	手結地区漁業者(シイラ漁)	出
6	北垣 博則	(有)土佐角弘海産 ジャコ加工業者	欠
7	松崎 真哉	(株)サンシャイン介良 販売業者	出
8	土居 聡	高知県水産振興部中央漁業指導所 所長	出
9	山下 樹徹	一般社団法人 高知県漁業就業支援センター マネージャー	欠
10	吉岡 みどり	(有)吉川水産 内水面養殖業者	出

	氏名	所属	出欠
1	小松 大洋	農林水産課	出
2	川崎 大也	農林水産課	出
3	川西 貴祥	農林水産課	出
4	徳久 歩未	農林水産課	出
5	府川 早苗	商工観光課	出

### ☆ 当日の流れ

#### 3. 開 会

#### 4. 課長挨拶

#### 5. 議 事

- ・ 令和5年度の進捗状況について
- ・ 令和6年度の事業(案)について
- ・ 令和5年度及び令和6年度のスケジュールについて

#### 4. 閉 会

## ○『令和5年度の取り組み状況』について【PDCA】

### 【P】（目標値）

○ 令和5年度数値目標：『沿岸漁業総生産額 300 百万円/年』

○ 速報値（R5.10 月末）：『沿岸漁業総生産額 158 百万円/年』  
(前年同月比 92%)

### 【D】（取り組み内容）

#### 【資料1】

#### 戦略の柱:地産の強化

##### ◇生産基盤の充実

##### 1. 生産基盤の充実

①吉川漁船修理場雨漏補修、②吉川上架施設軌条改修、③赤岡荷捌所改修、④赤岡揚降施設改修の4施設の整備について、10月末までの取組状況は①～③は改修済であり、④については2回入札を行ったが不調となったため、今年度事業を完成するため現在は協議中である。

今後の取組としては計画している改修工事以外にも緊急の故障等により漁業活動へ支障を来している設備もあるため今後も高知県漁協及び漁業者と連携し維持管理に努める。

##### 2. 漁港施設の整備

①住吉漁港の西防波堤と②吉川漁港の-2.0m泊地・-3.0 泊地浚渫について、①は現場は完成している状況であり、②については12月に入ってから作業を開始している。

総括について①は5箇所洗堀されているうち4箇所工事完成、②は現在作業中である。

今後も機能保全計画を基に計画的な保全工事を実施していく。令和6年度は①西防波堤の残り1箇所と②の深浅測量を行い、堆積状況を見ながら実施する。

##### ◇漁業者の生産性の向上

##### 1. 沿岸漁業設備投資促進事業

漁船導入事業を行っており、1件交付決定済である。3月末までには完了予定。今後も一般社団法人高知県漁業就業支援センターと希望漁業者と連携を密にし事業実施に向けた調整を行っていく。

その他補助事業として、「香南市燃油等高騰緊急対策事業費補助金」は、【資料3】コロナ対策事業として燃油・飼料の価格高騰により厳しい経営状況にある漁業者、養殖業者に対し支援するものであり、セーフティネット加入者を対象者とし、国、県、市、で補助をする。漁業者の負担を1/8に軽減する。

また、操業効率化を図るため、漁船レーダー等の設置に対し「香南市沿岸漁業設備投資促進事業費補助金」と「高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金」がある。補助対象者の要件があるため、活用される場合は相談に来てもらいたい。

## 戦略の柱:流通・販売の強化

### ◇市内水産物の認知度向上(ブランド化)

#### 1. 市内水産物の魚価向上

目標値シイラは 147 円/kg に対し 253 円/kg、シラスは 383 円/kg に対し 1,060 円/kg である。不漁であったがゆえに単価が高騰した。不漁の原因としては黒潮が離岸しているため土佐湾に接岸してこないためであると思われる。

認知度向上のため漁村情報発信ポータルサイトへ土佐角弘海産のシラス丼の写真を掲載しており、今後とも認知度向上に向けた支援を行っていく。

#### 2. 高知県漁協手結支所の販売額

凍結機器の導入を支援しており凍結した冷凍フィレ出荷額は、R2 から R4 までは上昇傾向であったが、R5 は落ち込んだ。原因としては過去にないほどのシイラの不漁が原因である。

(R2 294 千円 → R3 1,583 千円 → R4 3,500 千円 → R5 500 千円(10 月末現在))

R6 年度以降にブライン凍結機の導入を予定しているが、販路等を拡大した場合人員不足が懸念される。今後、人員不足解消のため、高知県漁協と販路拡大のため協議を進めていく。

#### 3. シラス加工品販売額

目標設定はなし。シラスの認知度向上のため漁村情報発信ポータルサイトへの掲載を行った。

### ◇学校給食等への納入

#### 1-1. 学校給食等への納入(かちりじゃこ)

目標値納入回数 60 回 43 回(10 月末現在)

和え物等の複数の献立に使用されることもあり計画通り進んでいる。

#### 1-2. 学校給食等への納入(シイラ)

目標値納入回数 24 回 16 回(10 月末現在)

シイラフライなど順調に納入されており計画通りに進んでいる。

当初計画にあった食育及び担い手メインとして映像で市内の漁業の紹介ができる教材の作成について、香南ケーブルテレビに依頼し作成中である。

## 戦略の柱:担い手の確保

### ◇(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保

#### 1. 担い手の確保事業

目標人数 1 人 10 月末は 0 人であるが、12 月から 1 人「雇用型漁業支援事業」による支援を実施する予定である。今後も高知県漁業就業支援センターと連携しホームページやフェアなどに参加し担い手確保に向けて連携していく。

## 【C】（チェック/確認）

○シイラ及びイワシシラスともに過去に例にないほどの不漁であった。シイラが特に不漁であり前年の 1/3 にも漁獲量はないほどである。原因は黒潮の離岸や海水温の上昇だと思われる。また、イワシシラスも 11 月までは不漁であったが、漁獲量がないがゆえの単価高騰であり漁獲高だけでみればイワシシラスは横ばい傾向である。12 月に入ってからイワシシラスの漁獲量は上向きであるものの今後も注視が必要である。

○担い手確保事業については、雇用型漁業支援事業で 12 月から 1 名の支援を開始した。今後も高知県漁業就業支援センターと連携し就業希望者へ広く周知していく。

## 【A】（アクション /改善）

○操業効率化の事業についても今後はデジタル化が必要になってくると思われる。高知県と連携し漁業者等にとって有利な補助金の活用などスマート水産業を推進していく。

○認知度向上に向け漁村情報発信ポータルサイトへの掲載やその他インターネット等を活用し水産物の認知度向上に向けた取組を支援していく。

## ○ 10 月までの取り組みについての意見や提案

○効率の良い漁業を目指していきたい。そのためには漁業者と行政の思惑がずれたら向上しないのではないかな。また、効率化を目指した事業を増やしてほしい。

○内水面漁業は種苗を仕入れて運営していくが、種苗が入らないかもしれない。種苗に対する補助が必要でないか。飼料や燃油に補助があったとしても 3~4 か月先で必要な時に間に合わない。

○シイラ及びシラスともの不漁でありシイラは過去最低であった。今後はこういったことに対する対策も必要であると思われる。運転資金の貸し付けなどあってもよいのではないかな。

○スピード感をもった対応が必要。

## ○ 前回の部会や策定委員会でいただいたご意見やご提案について

◇【デジタル化等の補助金へのご意見について】（R5 年度 第1回 水産業部会より）

○前回の部会でいただいたデジタル化の補助金については、今後の操業効率化に必要であると考え、来年度に向けて予算計上している。

開催日時:令和5年12月20日(木)9:30~10:50

場 所:市役所本庁舎 3階 305・306 会議室

## 令和5年度 第2回 香南市産業振興計画商業部会報告書

◇ 部会委員    ◎ 部会長    ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎福井 律	お菓子と雑貨 おひさん	欠
2	○下元 裕樹	香南市商工会	出
3	近藤 洋好	旅館 かとり	出
4	門田 直也	(有)マルオカ	出
5	大濱 優衣	楽天生命	欠
6	釣井 弘二	高知銀行 野市支店	出
7	横山 昌幸	高知県事業承継・引継ぎ支援センター	出
8	熊谷 紀子	高知県経営支援課	欠

	氏名	所属	出欠
1	萩野 大輔	商工観光課	出
2	府川 早苗	商工観光課	出
3	楠瀬 貴也	商工観光課	出
4	小松 雅史	商工観光課	出
5	藤原 奈央	商工観光課	出

### ☆ 商業部会の開催内容

#### 1. 開 会

#### 2. 挨拶      商工観光課長 萩野 大輔

#### 3. 議 題

(1)令和5年度 商業分野の取組状況について

(2)令和6年度 商業分野の取り組みについて

#### 4. その他

#### 5. 閉 会

## ○『令和 5 年度の取り組み』について【PDCA】

### 【P】（目標値）

○令和 5 年度数値目標：『商業者数 763 者』

『新規事務系企業数 2 企業』

○実績値（R5.10 月末時点）：『商業者数 ー 者』

『新規事務系企業数 1 企業』

### 【D】（取組内容）

商業者数(事業所数)については、集計・公表がまだ行われていないため、10 月末時点の実績は示していない。

新規事務系企業数は、包括連携協定を締結している企業の進出により、1件の実績に繋がっている(4/1:イシン株式会社が高知オフィスを開設)。

#### <具体的な取り組み(資料1より抜粋)>

##### ○空き店舗活用に向けた取り組み

・商店街等振興計画については、R4年 11 月に策定した「香南市中心市街地活性化計画」のアクションプランに基づき、地域事業者を中心として、2つのイベントを開催。また、県補助金に上乗せする形で、市としても「香南市中心市街地活性化計画推進事業費補助金」の創設を行っており、事業を実施した2団体に交付済。

・空き店舗情報の発信としては、「空き店舗バンク」という形態ではないが、主に市内不動産会社が所有している空き店舗物件情報について集約を行い、市 HP への掲載を実施。10 月末時点での掲載件数は 5 件となっている。

・空き店舗等対策事業費補助金は、10 月末時点で 3 件の活用実績あり。

・新規事務系企業については、H30 年に包括連携協定を締結したイシン株式会社が、4/1 付けで高知オフィスを市内に開設され、1件の実績となっている。

##### ○担い手の確保に向けた取り組み

・事業承継については、市の広報誌等を通じて、事業承継・引継ぎ支援センター等に関する情報提供を実施。9/27 には、個別相談会も開催されている(センター主催)。

・香南市未来人材育成奨学金返還助成事業や創業支援事業については、市 HP での広報や、市内金融機関を対象とした説明会での事業紹介を実施。



## ○商業支援

- ・R5 年 10 月より開始されたインボイス制度について、商工会主催にてセミナーを開催し、50 事業者の参加あり。
- ・地場産品販売促進事業については、各種イベントでの物販や、カタログ配送による PR のほか、季節商品の取扱い等による EC サイトの内容拡充にも取り組んでいる。また、ふるさと納税については、今年度よりコンサル業者とも連携した返礼品の開発、事業者への個別サポート等に注力している。

## ●新型コロナウイルス感染症等対策事業

香南市原油価格等高騰対策給付金(第 2 期)

## 【C】 (チェック/確認)

### ○空き店舗活用に向けた取り組み

- ・「中心市街地活性化計画」の推進については、今年度は追加でのイベント開催予定なし。今後は、これまでの取組も踏まえた、開催内容の磨き上げ、実行体制の強化が必要なほか、「補助金の補助対象期間＝計画期間(R5年～R7年)」となっていることから、期間終了後の収支面での自立に向けた実行体制の構築も課題。
- ・空き店舗情報については、希望者に対してより充実した情報を提供できるよう、今後も集約に努めていく必要がある。

### ○担い手の確保に向けた取り組み

- ・事業承継については、センターへの相談件数は増加傾向にあり、支援に対する潜在的なニーズを把握することが必要。

### ○商業支援

- ・ふるさと納税については、R5年 10 月の制度改正以降、申込が減少傾向にある。今後も継続して返礼品の開発等に取り組んでいく必要がある。
- ・住宅リフォーム補助金は、制度の周知が進み、利用率も高く、本年度も目標値である総事業費 10, 000 万円を達成する見込み。

## 【A】 (アクション /改善)

○空き店舗活用に向けた取組については、地域事業者及び関係機関と連携しながら「香南市中心市街地活性化計画」の取組を推進していく。また、空き店舗情報の集約に努め、窓口や市 HP で紹介できる物件の充実を目指す。

○事務系企業誘致については、オンライン等による継続した誘致活動を展開するとともに、立地企業が行う人材募集等に関して支援を実施していく。

○担い手確保に向けた取組については、市 HP や広報誌等も活用しながら、各種支援策の周知に努める。

○商業支援の取組については、現在実施している「原油価格等高騰対策給付金(第 2 期)」をはじめとして、各種施策の広報に努めるほか、地場産品販売促進事業では、今後も継続して事業 PR に努め、新商品の開発等にも取り組んでいく。

### <11月以降の主な取り組み予定(資料1より抜粋)>

- ・中心市街地活性化計画の推進 : 11/17 ワーキンググループ、2/1 協議会開催
- ・香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 : 2 件の新規認定見込
- ・創業支援利子補給金事業 : 3 件の申請見込
- ・各種セミナー : 2/16 デジタルマーケティング戦略セミナー開催
- ・地場産品販売促進事業 : ふるさと納税の登録サイトを 4 件追加予定

## ○ 10 月までの取り組み・令和 6 年度の商業分野の取り組みについての意見等

### 【主な意見・提案】

#### ◇事業承継に関する取組について

- 他市町村と比較すると、商工会や市との連携がまだまだ不足している印象（金融機関との帯同訪問は非常に多い）。せめて 70 歳を超えた方に対して、数年後に向けてどういった準備をしていけばいいかという話ができれば。
- 他市町村では、申告とあわせて事業承継の相談ができる環境を設定している商工会もある。
- 補助金ありきで事業承継がおこるわけではないが、後押しする材料の一つにはなるかと思う。今年度より、県補助金も拡充されている（対象：中山間地域に限定）。
- 数年後には、事業承継の問題が必ずもっと大きくなっていくと思うので、今後事業承継を考えている方や譲渡側の方を委員に追加してもいいと思う。こういったしっかりと将来について協議できる場もあるので、長いスパンで見る計画には適している取組かと思う。
- 事業承継、M&A に対して、若い方がもっと簡単に調べられる、積極的に参加できる、相談できるような場所があれば。デジタルを活用して、アンケートの集約を行う、スマホを通じて情報提供を行う等も効果的ではないか。
  - 補助金については、当市においては中山間以外の事業者数が多いため、中山間という制約がネック。想定の実業家数等も見ながら、引き続き検討はしていきたい。
  - 情報政策課と連携して、アンケートの集約等はデジタルと絡めた形での展開が可能と思うが、発信の仕方、どうターゲットを絞っていくのが課題。（事務局）

## ○ その他についてのご意見等

#### ◇部会の開催について

- 参加されている委員数が少ないことは非常に残念。各委員からの的確な意見も出ている中、意見をきちんと交わす場となるように、できる限り多くの方が参加できるよう調整できないか。
  - ※今年度：第 1 回⇒4 名、第 2 回⇒5 名の参加となっている。
  - 策定委員会の日程も考慮しながら日程調整を行い、できる限り出席いただける方が多い日で案内をさせてもらっているが、今後はより多くの事業者の方が参加できるよう、必要に応じて再調整等もさせてもらいたい。（事務局）

#### ◇地域おこし協力隊について

- 一つのエリアや特定の課専属という形ではなく、全般的にかかわることのできる方、例えば、イベント全般を担当するとか、商店街活性化のために空き店舗等の調査をするとか、そういった形で活躍してもらえる体制をとるのも一つの方法ではないか。

部会開催日:令和5年12月18日(月)10:00～11:30

場所:香南市役所本庁3階303・304

## 令和5年度 第2回 香南市産業振興計画工業部会報告書

◇ 部会委員    ◎ 部会長    ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎岡本 隆晃	YAMAKIN株式会社 総務部 総務課長	出
2	○中谷 誠一	香南市商工会 工業部会長	欠
3	五島 一成	株式会社精工 高知工場 工場長	出
4	石川 幸広	四国職業能力開発大学附属 高知職業能力開発短期大学校 能力開発部長	出
5	田村 知之	公益財団法人高知県産業振興センター 地産地消・外商推進部 外商課長	出
6	森田 清史	香南市商工会 経営指導員	出
7	高山 享之	丸三産業株式会社 香南工場 工場長	欠
8	北 泰子	高知機型工業株式会社 取締役 副社長	出
9	岡林 一夫	丸三産業株式会社 高山委員代理出席	出

	氏名	所属	出欠
1	萩野 大輔	商工観光課	出
2	府川 早苗	商工観光課	出
3	藤原 奈央	商工観光課	出
4	小松 雅史	商工観光課	出
5	楠瀬 貴也	商工観光課	出

### ☆ 工業部会の開催内容

1. 開 会
2. 挨拶 商工観光課長 萩野 大輔
3. 令和5年度工業分野の取り組みについて
4. 令和6年度工業分野の取り組みについて
5. その他
6. 閉 会

## ○『令和5年度の取組状況』について【PDCA】

### 【P】（目標値）

数値目標	年度	基準値 (R0年度実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備 考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500	360	380	400	420	440	2,000		工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R元年工業統計結果(速報)の製造品出荷額 344億円から、R2年度以降に操業開始を予定し ている企業の事業計画による見込みと、第2期 からの支援施策による増加分を見込んだもの。
	実績値	344	344	380	295	－				
	達成 (評価)	B	B	A	B					
新規雇用者数 (人)	目標値	－	5	8	19	16	15	63		市内立地企業に新たに雇用された市在住の人 数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数 の内、現在雇用している方を差し引いた人数の 半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数 の70%を見込んだもの。
	実績値	－	21	29	17	4				
	達成 (評価)	－	A	A	B					
追記箇所: 令和3年度製造品出荷額実績値及び達成評価 ⇒ 295億円(達成評価B) を追記										
※更新事由: 令和4年経済構造実態調査(製造業事業所調査)の公表による(R5.12.1公表)										
修正箇所1: 令和4年度新規雇用者数 14人 ⇒ 17人 に修正										
※更新事由: 3人のカウント漏れ										

### 【D】（実行内容）

○数値目標である製造品出荷額 420 億円に対し、令和5年(調査期間:令和4年1月～12月)の経済構造実態調査結果は未だ公表されていないことから、令和5年10月末現在での評価は示していない。  
(※令和4年中の製造品出荷額等の数値は、令和6年12月頃までに経済構造実態調査より公表予定)  
また、もう1つの数値目標である新規雇用者数については、10月31日現在で4人となっている。  
戦略の柱である「企業誘致の促進」香南市企業立地促進事業費補助金については、令和4年度に補助金交付申請のあった2社ともに、補助金交付要件となる新規地元雇用者が予定人数に達したため、令和5年度中での補助金交付を予定している。「既存企業の育成・支援」については、市内事業者への原油価格高騰対策として、「第2期原油価格等高騰対策給付金」を実施し、各種支援事業とあわせて企業訪問等で周知を行った。また、小学生の夏休み期間に、工場見学ツアーを開催し、若者の地元定住に繋がる取り組みを実施することができた。

#### ＜具体的な取り組み(資料2より抜粋)＞

- ・ 香南市企業立地促進事業:補助金申請2件 (※2社とも令和4年度中に操業開始)
- ・ 商談会開催事業:21回 (県内工場視察商談会6回 8件 県外商談会1回 商談件数13件)
- ・ 先端設備等導入計画認定件数:新規認定7件
- ・ 香南市産業人材育成事業費補助金:3件 (※要綱一部改正)
- ・ 香南市未来人材育成奨学金返還助成金: 新規認定件数1件
- ・ 合同企業説明会の開催:(9/20開催、市内企業6社参加、参加者数16名)
- ・ 工場見学バスツアーの開催:(8/1開催、見学企業2社、参加者数29名)

## 【C】（チェック/確認）

### ○企業誘致の促進

補助金申請のあった2社ともに新工場が竣工し操業を開始しており、補助金交付の要件となる新規地元雇用者が予定人数に達したため、令和5年度中の補助金交付を予定している。また、今年度中に補助金申請を予定している企業も含め、事業の進捗確認等を今後も行っていく必要がある。

### ○既存企業の育成支援

- ・商談会開催事業については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、予定どおりの商談会の開催ができています。
- ・中小企業者の生産性向上支援事業については、令和5年度税制改正により、中小企業者の前向きな投資や賃上げを後押しするため、新たな固定資産税の特例措置が新設されたが、原油、物価高騰の影響による企業の設備投資の抑制が、認定申請が少ない1つの要因として考えられる。
- ・その他各種支援事業については、企業訪問や香我美町立地企業交流会及びものづくり会の合同交流会での事業紹介をすることで、一定利用件数の増加につながったが、事業内容自体を十分に把握されていない事業者も多く、周知の方法等を今後検討していく必要がある。
- ・合同企業説明会については、香南市内の専門学校にも声掛けを行ったが、9月下旬は学生の夏季休暇期間が終了しており参加が難しかったこと、また、大学4年生は春先に就職活動に力を入れる方が多いと思われることから、学生の参加者数が少なくなっていると考えられる。
- ・ものづくり教育推進事業については、市内の全小学校にチラシを配布し、周知を行ったことにより、29名の子ども達に参加してもらうことができた。

## 【A】（アクション /改善）

○「企業誘致の促進」については、補助金交付申請のあった2社については、令和5年度中の補助金の交付に向けて引き続き事業者と連携して進めていく。

令和5年度交付申請予定の1社については、指定申請・補助金交付申請に向けて、ヒアリング等を行いながら連携し進めていく。また、新工場建設に向けて立地企業の雇用スケジュールにあわせて企業説明会・面接会を開催し、1人でも多くの地元雇用につなげる。

○「既存企業の育成・支援」については、下半期に予定している企業訪問や城山高校での合同企業説明会を開催するとともに、各支援事業の利用件数増加につなげるよう、関係機関と連携して事業周知の強化に取り組んでいく。

### <11月以降の主な取り組み予定(資料2より抜粋)>

- ・ 香南市企業立地促進事業費補助金指定・交付申請 1件(令和5年度中)
- ・ 商談会開催事業(工場視察商談会6回、県単独商談会1回:2月)
- ・ 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 2件新規認定予定
- ・ 城山高校合同企業説明会の開催 (2月7日 開催予定)

## ○ 令和5年度の取り組みについての意見等

### 【主な意見】

#### ◇ 商談会開催事業について

- ・ 県内外で商談会やイベントも様々開催されているため、市内のものづくり企業には今後も積極的に商談会等に参加して契約や企業PRにつなげていただきたい。
  - 商談会等の情報等については、香我美町立地企業交流会や香南市ものづくり会等の市内企業にメールで案内することは可能である。引き続き、高知県産業振興センターと連携しながら件数増加に向けて協力して周知等していく。(事務局)

#### ◇ 企業魅力発信動画制作支援事業費補助金について

- ・ 当該補助金を活用しCM作成することで会社の知名度向上に一定効果的であったと考えている。企業単体でなく工業団地全体等、香南市の企業全体で魅力発信していけたらいいのではないかと。
  - 現状、工業団地単位等での取組は考えていない。今後、例えば香我美町立地企業交流会や香南市ものづくり会の単位で、企業発信で企業が出資をして市が一定支援を行うという形であれば可能性はあるかと思われる。そういった形で企業からの声も上がってくるようであれば検討していきたいと思う。(事務局)

#### ◇ ものづくり教育推進事業について

- ・ こども達がものづくりに触れる機会を増やすためにも次年度以降も積極的に募集をしてもらいたい。
  - 今年度も好評をいただいております。次年度も開催予定。熱中症等にも注意が必要だが夏休み時期の開催が参加者側も参加しやすいため、次年度も同時期での開催を検討している。(事務局)

## ○ 令和6年度の工業分野の取り組みについての意見等

### 【主な意見・提案】

#### ◇ 中小企業省力化投資補助事業について

- ・ 国の新たな動きとして、物価高騰と人手不足に悩む中小企業に対して、IoT、ロボット、AIなど人手不足解消に効果がある設備投資に対する補助金ができる。市としても何か小規模事業者等への小口向けの補助金を検討していただきたい。
  - 当市では小規模事業者持続化補助金と香南市企業魅力発信動画制作支援事業費補助金、先端設備等導入支援事業費補助金の小口向けの補助金としてある。ニーズが引き続き出てくることがあれば市独自で新たな設備投資も含めた補助金を検討していきたいと思う。(事務局)

#### ◇物流の2024年問題について

- ・ 2024年4月からトラックドライバーの時間外労働が960時間上限規制と改正改善基準告示が適用され、労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、企業として物が運べなくなる可能性が懸念されている。代替してもらえるような事業所等、ネットワークがあれば情報共有をしてもらいたい。
  - 現状、当課として物流に関するネットワーク等はないため、県の関係課等に相談し何か提供できる情報があれば情報提供していく。(事務局)

### ○ その他意見や提案について

#### 【主な意見・提案】

#### ◇高校生の探求学習について

- ・ 地元高校等の探求学習(課題研究)の課題設定に「製造業・ものづくり企業の魅力発信」というテーマも市内企業の魅力発信にも繋がると思う。

### ○ R4 経済構造実態調査(R3年1月～12月)における製造品出荷額等の数値について(※R5.12月公表)

- ◇ R3 経済センサス調査(R2年1月～12月)の当市の「製造品出荷額等」の実績値は380億円、R4 経済構造実態調査(R3年1月～12月)で公表された製造品出荷額等の実績値が295億円となり85億円の減少となっており、事業所数が前年43事業所から38事業所(△5事業所)となった。  
また、R3 経済センサス調査では、従業員数100人の会社も1社あったが、R4 経済構造実態調査では0社となっている。
- ◇ 帝国データバンクの廃業等の情報も調べたが、該当する年度に倒産や廃業、事業所の規模縮小等はなかった。
- ◇ 公表事業でみると14業種中6業種のための公表となっており、8業種が秘匿でその部分の分析もできなくなっている状態。秘匿業種での増減が考えられるが、守秘義務などで回答を得られない。
- ◇ 考えられる統計上の要因としては、「令和4年6月1日時点で稼働している事業所が対象となるため、調査時点で稼働していない」、「製造業でこれまで回答していたところが別の産業にて回答した」、「事業所単位で回答すべきところを本社が一括して答えてしまった」等が、もし起こればそれがそのまま事業所数の減として出てしまう。県としても国の調査になった関係で詳細まで把握できなくなっており、あくまで推測であり明確な答えがわからないという回答となっている。
- ◇ 調査元である経済産業省調査統計グループ構造・企業統計室経済構造実態調査製造業班にも、確認し可能な範囲で調査を行う必要がある。

### ○ 工業部会後における国の関係機関に対する「製造品出荷額等」の減少原因等の聞き取り内容

県や国の関係機関に原因等の追究を行ったが、現状「製造品出荷額等」の減少要因の根拠となる項目や原因等は個人情報保護の観点から調査する手段はない。

事業所数が減少している理由としては、「令和4年6月1日時点で稼働している事業所が対象となるため、調査時点で稼働していない」、「製造業でこれまで統計回答していたところが別の産業にて回答した」、「事業所単位で回答すべきところを本社が一括して答えてしまった」等の統計上の何らかの要因によるものと推測される。また、事業所数の減少に伴い、製造品出荷額等の実績値が前年より減少したものと考えられる。



部会開催日：R5.12.20(水)

## 令和5年度 第2回 香南市産業振興計画 観光部会 報告書

◇ 部会委員    ◎ 部会長    ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎梶原 英正	井上ワイナリー株式会社 香南市観光協会	出
2	○中西 洸太郎	絵金蔵	出
3	堀田 幸雄	高知県立のいち動物公園協会	欠
4	弘瀬 沙也香	香南市観光協会	出
5	高橋 真紀子	香南市商工会	出
6	岡林 順子	創造広場「アクトランド」	出
7	阪部 一仁	(株)ヤ・シィ	欠
8	永野 裕介	土佐くろしお鉄道株式会社	出
9	山本 浩一	リゾートホテル海辺の果樹園	出
10	濱渦 ゆかり	物部川 DMO 協議会	出
11	大崎 優	高知大学次世代地域創造センター 高知県サイクリング協会	出

	氏名	所属	出欠
1	萩野 大輔	商工観光課	出
2	府川 早苗	商工観光課	出
3	中屋 亜希子	商工観光課	出
4	平尾 智美	商工観光課	出
5	前田 奏	商工観光課	出

### ☆ 観光部会の開催内容

1. 開 会
2. 挨拶 商工観光課長 萩野 大輔
3. 議題
  - (1)令和5年度の観光分野の取り組み状況について
  - (2)令和6年度の観光分野の取り組みについて
4. その他
5. 閉 会

## ○ 令和5年度 観光分野の取り組み状況について【PDCA】

### 【P】（目標値）

	R5年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
観光施設入込客数	117万人	84.3万人	－	

※ 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。（暦年 1-12月の合計）

#### 【対象10施設】

①県立のいち動物公園：175,665人 / ②月見山子どもの森：18,807人 / ③ヤ・シィパーク：242,064人  
 ④絵金蔵：6,863人 / ⑤天然色市場：28,594人 / ⑥やすらぎ市：169,558人  
 ⑦あぐりのさと：10,172人 / ⑧黒潮温泉：91,286人  
 ⑨創造広場「アクトランド」：48,593人 / ⑩土佐カントリークラブ：52,158人

### 【D】（実行内容）

#### ○情報発信手段の効果的な活用

・日曜市や高知新港、県外イベントなど積極的に出店、SNSの発信によるPR、HPへの誘導を行った。

#### ○核となる観光拠点の形成

・ヤ・シィパークでは各種イベントへの協力や体制の見直しを行い、誘客に努めている。  
 ・三宝山エリアのワイン醸造施設では圃場拡大や醸造増への取り組みやイベント出店を行っている。

#### ○広域観光の推進

・土佐観光創生塾との連携や観光庁の補助事業で言語のユニバーサルへの取り組み、積極的な商談会への参加、ものべおしごと博の実施など多分野の取り組みを行っている。

#### ○スポーツツーリズムの推進

・サイクルイベントでは健康サイクリングを4回実施。雨による中止が1回あり、また、熱中症回避のため7月、8月は中止した。  
 ・香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンを9月1日から実施。  
 ・夜須町の塩の道を活用したトレイルランニングレースを初めて実施。  
 ・マリンスポーツ体験は、受け入れ体制が整わず、十分な受入ができなかった。

#### ○おもてなしの向上

・ガイドを務める香南市案内人会は高齢による引退もあり、活動が十分に行えていない。  
 ・外国人観光客の受入は昨年度までの研修を受講した事業者実際に受入をいただいた。

### 【C】（チェック/確認）

・観光施設入込客数は目標値117万人に対し10月末の実績値は84.3万人（達成率72%）であり、前年度比98%となった。（前年度同時期86万人）。昨年度まで行っていた入込客数の回復を目的とした「香南いこいキャンペーン」の実施は行っていないものの、横ばいとなっている。HPやSNSでの情報収集が増加しており、観光客

が戻ってきていることが伺えることから、各施設の課題を共有し、周知・誘客・周遊を連携して取り組んでいく必要がある。

#### ○情報発信手段の効果的な活用

- ・高知新港では客層によって売れ行きが異なっている。
- ・イベントが通常開催されるようになり、イベント情報が発信できるようになった。

#### ○核となる観光拠点の形成

- ・ヤ・シィパーク駐車場がイベントの臨時駐車場として利用されたことで店舗への来客が増えた。
- ・空き店舗への入店が課題である。
- ・manamana の体制見直しにより売上増への成果が出ており、新規取り扱い先も増えている。
- ・醸造したワインがコンクール入賞するなどにより取引増となっている。観光事業者との連携ができていないので観光誘客につながるコンテンツや買い物だけで終わらない仕組みが必要となっている。

#### ○広域観光の推進

- ・ワーケーションでは長期受入に課題がある。
- ・商談は1名で行っており、インバウンドや教育旅行など多種の営業になっているため人員不足を感じている。

#### ○スポーツツーリズムの推進

- ・健康サイクリングには一定リピーターはいるが、新規参加者が少ない。参加者のニーズに合ったイベントの企画・開催が必要である。
- ・トレイルランニングレースでは、地域の食や特産品を活かした内容により地域の魅力を伝えることができた。

#### ○おもてなしの向上

- ・香南市案内人会会員が減少しており、会員を増やす取り組みが必要。
- ・外国人観光客受入研修は、代表は受講しているが全従業員が自信を持てるまでに至っていない。

## 【A】（アクション /改善）

- ・香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンを1月31日まで1か月間延長して実施し、自転車活用により周遊促進を行う。

- ・令和6年3月23日から3月31日までの土日4日間で香南市周遊花めぐりバスを運行する。

#### ○情報発信手段の効果的な活用

- ・引き続き積極的な出店を行い、PRを行っていく。
- ・HPはアクセス数が伸びる花関連の特設ページを設け、随時情報発信を行い、SNSでも見たい投稿やメッセージへの返信など丁寧に取り組んでいく。

#### ○核となる観光拠点の形成

- ・空き店舗への入居者の募集を継続する。
- ・ヤ・シィパーク駐車場利用により他の店舗への波及効果もあることから収益につながる企画に取り組む。
- ・manamana の新商品や限定商品など内容の活性化を図っていく。
- ・観光誘客できる手段と内容を検討していく。

#### ○広域観光の推進

- ・各事業をブラッシュアップし、誘客に取り組む。
- ・商談できる人員増を図りたい。

・連続テレビ小説「あんぱん」放送決定を受けて、観光誘客に向けて事業を検討していく。

#### ○スポーツツーリズムの推進

- ・サイクリングは、イベントの内容の再考を行い、集客に特化した内容に改善していく。
- ・自転車のまち香南市応援サポーターを通してイベント周知や参加を呼びかける。
- ・トレイルランニングレースは、募集人数を増やして計画を進める。

#### ○おもてなしの向上

- ・香南市案内人会の活動の周知や会員募集を行う。
- ・香南市観光協会、物部川 DMO 協議会と連携し、ガイドを活用した観光 PR を図る。
- ・外国人の文化理解の内容で外国人観光客受入研修を実施する。

## ○ 令和5年度 観光分野の取り組み状況についての意見等

### 【主な意見】

#### ◇外国人観光客受入について

●外国人観光客受入研修について、出張で県外に行くことも多くなってきて、外国人観光客が多くきていると感じている。実際、研修の申し込みが少ないのはなぜか？

▷今年については研修が行われていない状態で前年度、研修を受けた事業者を受け入れしてもらった実績になっている。今年度の研修については、2月か3月で予定している。物部川 DMO 協議会の方で観光庁の補助金を活用して食のユニバーサル、言語のユニバーサルに取り組まれている。これを中心に外国人の文化理解を行い、受け入れ体制を作る研修を計画中。前年度の研修で外国語の指差しで使えるもの（コミュニケーションシート）の案内があり、観光庁の HP よりダウンロードができるので外国人観光客が来られた時に出してコミュニケーションを取れるようにご案内する内容にしたいと考えている。

●PR 活動の強化の Guidoor の 47 件の意味とどのように評価したら良いか？

▷既に公開している HP を外国人向けに多言語に翻訳し無料で公開してくれるもの。うまく活用できていないため、数値が伸びていない。QR があるので、PR のときに使っていただけるよう送らせていただく。

●受入体制の強化の中で外国人対応の可能な人材を育成し、訪れやすいまち香南市につなげていくとある。もう少し具体的などころが見えたらと思う。この施設にいれば英語対応ができますといったことがわかれば安心して案内できる。

#### ◇サイクルイベントについて

●サイクルイベントの参加者数が少ないが、新しい政策などあるのか？

▷実際に実施できているイベントが健康サイクリングとタンデム自転車講習会、こうなんスポーツクラブが実施しているキックバイクで遊ぼうの子ども向けイベントの数しか反映されていない。今後、内容の見直しや自転車のまち香南市応援サポーターの制度があるので、サポーターを通して周知を強化していかなければならない。

●対象イベントで三宝山ヒルクライムは難しいと思うが、3市ロングライドはやらないのか？他の2市が協力的でないのか。

▷主体的に動いていないのが原因であり、調整ができておらずやれていないのが現状。2市に声掛けして協力いただきながらやっていきたい。物部川の堤防が自転車でも走れるように整備されているので、そ

こを活用しながらそれぞれの観光施設などを回れたらと考えている。

●3市ロングライドを実施してイベントで人を集めて健康サイクリングをやっているのでは来ませんかというリピーターに繋げていくというイベントの使い方ができるのではないかと思います。企画を作るのを手伝うのでやってもらいたい。

## ○ 令和6年度に向けた取組について

### 【主な意見・提案】

#### ◇子どもの遊び場確保事業(ヤ・シィパーク)について

●ヤ・シィパークの有料駐車場の無料駐車券プレゼントの転売など問題もあると思うが受渡しの方法はどのようにしているか？

▷抽選に当たった方に郵送で送付している。1枚の券で何回も使えるものになっており、10月末時点で84回利用されている。

●どの年代の子どもがいる世帯からの申込が多いのか？

▷申請があった年齢を見てみたが、まんべんなく広い年齢から申込があった。

## ○ その他についての意見等

### 【主な意見・提案】

#### ◇連続テレビ小説「あんぱん」放送決定を受けて

●あんぱんに向けて何かやる予定はあるのか？

▷香南市はごめん・なはり線のキャラクターがあるくらいであり弱いですが、物部川 DMO 協議会が3市の観光に関することをやっているのでも3市担当課と話し合いをしながら連携して何をやるのか今後、決めていく。

▷物部川 DMO 協議会が事業計画としてたたき台を作成していただいている。これを各市で肉付けしたものを予算化して誘客促進事業を行っていきたいと思っている。赤岡駅にあるキャラクターを活かして見てもらえるようにしたい。3市としてファミリー層をターゲットに誘客促進を進めていくとしている。まだ具体的なものはお示しできないが、例えば、子ども向けの観光案内や食べ物を提供できるといったパンフレットの作成を検討している。肉付けできたら予算化して3市で進めていきたい。ホテルや事業者の方であんぱん関連で検討している、企画したいなどあればお構いなしで教えていただきたい。

●浜幸のお菓子としてあんぱん関連でお菓子を開発中である。

●ファミリーを受入ができていないエリアではあるので、あんぱんとしては香美市、南国市がフォーカスされるが、物部川 DMO 協議会の役割としては、来ていただいたお客さんをいかに香南市の方に周遊させるかが課題である。

●事業者はキャラクターや文言を商品などに付けたいとなったときに、どこに相談したらいいのかわからないという問題があると思う。行政なのか物部川 DMO 協議会が取りまとめをして、機運を盛り上げていこうという相談窓口としてどこが機能していくのか？

▷使いたいときの相談窓口を1本化しないといけないという話は出ている。県になるのか物部川 DMO 協議会になるのか役割分担が決まったら報告したい。

●3市が共通で使えるようなものは何か進めているか。キービジュアルの方が目に留まるので事業者として

は使いたい。

▷キービジュアルを作っていないといけないと話が出ている。基本的にキャラは難しいようで香美市が協議してくれているが、キャラじゃない方向で検討した方がいいのではないかという意見になっている。

●連携の中であんぱんは他の2市がメインとはいえ、香南市が飛び抜きたい。南国市、香美市が何を持って人を呼び込もうとしているのかといったことは教えてもらえるのか。

▷香美市の副市長が言われていたのは、市が主体で進めるのではなく、地元の人がやなせさんゆかりの地の思いを強くしてそこを前面に出していく形を取りたいとのことであった。何でも市がやりますではなく、地域が盛り上げていく仕組みにしたい。渋滞対策やトイレの整備は一定、市が進めていく部分だが、来ていただく施策や案内する内容については地元ありきで進めるという話であった。

●どこで誘客をして何と結び付けようとしているのか知りたい。

▷切り口としてアニメ文化、美術文化、地元に愛着を持ってたくさんのキャラクターを残してくれていることをしっかりと伝えていかないといけないと県の方は思っているようであった。

▷あんぱんとしてはエリアでと思っているところが強い。香美市、南国市、物部川流域として香南市の3市で提案してほしいとのこと。来年度から県が取り組む極上の田舎、どっぴり高知も広域単位で取り組むものになるので極上の田舎の中に物部川流域としてあんぱんが素材としてあるというイメージになる。令和7年度になると放送が始まるので前面に出てくるので、一定のプロモーションは県も協力してくれる。基本的な企画、立案になると3市と物部川 DMO 協議会で練って計画を上げていく形になる。

#### ◇事業者間の連携について

●香南市にしかないコンテンツで連携・誘客して、例えば、高知市に泊まるのではなくて果樹園で泊まってもらうなどみんなで考えていかなければならないと思う。連携について何か具体的な取り組みや想像しているものがあれば共有いただきたい。

●ホテルの方ではお客さんに遊びに行くところはないかと聞かれる。ホテルの方で手作りイラストの観光マップは作っているが、既に作っているのがあればホテルの方でも配布できるので双方でやっていればお客さんを誘致できるのではないかと思う。

#### ◇のいちインター開通について

●インターの誘導板など、看板をつける取り組み予定はあるのか？民間施設は道が新しく変わると方向がわからなくなるので民間の看板も立てられるような場所も要望してほしい。

▷市が予算をつけて設置にはたぶんならないが、のいち動物公園なら県になるので開通を見越して必要ところに看板をつけていくと思う。市としても集客してほしいところについては要望していきたい。